

環境管理システム構築に向けて － 環境管理センターでキックオフ －

岡山大学環境管理センター

加瀬野 悟

1 環境問題の変化とその対応

岡山大学をはじめ組織は、かつての公害に代表される自らの活動の環境へ悪影響を及ぼす事象に対して、法規制的、さらに自主的に対応を行ってきた。ところが、地球環境問題をはじめとする最近の環境問題においては、その問題の原因を特定の主体に特定することは困難で、ありとあらゆる活動が原因となっている。このような問題の解決には、自らの行動が及ぼす影響に気づき、自主的に環境に配慮した行動をとるようになることが必要であり、組織に対して、その活動が生み出す環境への負荷をあらゆる段階で削減することが求められるようになってきた。

組織の活動に伴う環境負荷を削減していく手法として、環境マネジメントや環境監査システムが注目されている。これらは、環境活動を事業活動の一部とし、自らの産み出す環境に対する影響や環境負荷を自主的かつ計画的に削減していくための手法である。

2 岡山大学の現状

岡山大学環境管理センターでは、平成12年度教育研究特別経費により、「岡山大学における環境マネジメントシステム形成に関する基礎的研究」(研究代表者：河原長美センター長)を行った。そして、この研究によって得た知見を研究成果報告書「岡山大学における環境負荷の現状と環境マネジメントシステムの構築」にまとめた。

これらの検討結果から、岡山大学の諸活動による環境負荷発生量がかなり大きいこと、それらによる環境影響も決して小さなものでないことが明らかになってきた。そして、岡山大学の諸活動による環境負荷や環境影響を低減するには、現在の岡山大学の体制、システムのままで対策では大幅な低減は期待できず、岡山大学が組織として環境を重視する姿勢を示し、これに取り組んでいく必要を唱えた。

3 環境マネジメントの必要性

環境に配慮した大学の運営改善をシステムとして実現したものが環境マネジメントシステムであり、それを具体化するのが環境マネジメント体制である。その体制に基づく活動として、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証取得が考えられる。

岡山大学における環境マネジメントシステムの構築は、大学の活動による環境負荷低減に加えて、省エネなどコスト削減も期待できる。また、学生に対して多大な教育効果が得られるものと考えられる。学生が自ら環境マネジメントを実践することによって、学生の環境に対する意識が向上し、環境意識を身につけた学生を社会へと送り出すことにもなる。さらに、環境マネジメントシステムを構築、運用しながら、さらによりよいマネジメント方法を開発する研究することも期待でき、その研究成果を社会へ還元するこ

とも可能である。

環境マネジメントシステムを運用するにあたり、具体的に取り組まなければならない環境項目としては、エネルギー管理、廃棄物管理、化学物質管理、上下水道管理、排気管理、安全性、環境教育、関連研究の実施、環境関連法規の遵守、地球環境観と次世代責任の育成・啓発など数多くある。これらを一度に実施することは大変なことであり、可能なところから計画的かつ持続的に取り組むことが必要である。

さらに、環境マネジメントシステムは万全の態勢が整ってから実施するのではなく、可能な限り早期に開始して、運用を通してシステムの整備充実を推進するほうが重要と思われる。

4 環境管理センターでの環境マネジメントシステム構築

以上のことを踏まえて、まず、環境管理センターで環境マネジメントを導入、運用することを平成14年1月に開催された環境管理センター運営委員会に提案し、了承された。環境管理センターの環境マネジメントシステム構築にあたっては、社会的認知の観点から、ISO14001の認証取得を目指すこととした。そして、環境管理センターの環境マネジメントシステムの構築、運用は、岡山大学における環境マネジメントシステムの基礎となり、全学的なシステム及び環境マネジメント体制の充実につながっていくものと思われる。

5 環境管理センター環境マネジメントシステムのキックオフ

前述の委員会決定を受けて、平成14年2月27日、環境理工学部環境デザイン工学科会議室において、環境管理センターの環境マネジメントシステム構築説明会を開催した。これは、環境管理センターが環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001の認証取得を目指すことを、環境管理センターの環境マネジメントシステムにおける構成員(環境管理センター専任教職員)にセンター長が宣言する会で、通常キックオフと呼ばれているものである。

説明会では、河原センター長が、環境管理センター環境マネジメントシステム構築とISO14001認証取得の意義と取り組みの宣言について話した後、加瀬野が、環境管理センター環境マネジメントシステム構築とISO14001認証取得の計画の概略と取り組みについて説明した。説明会には、センター長、センター専任教職員8名の他、部局環境管理員7名にも参加いただいた。

環境管理センターでは、現在、環境管理センター環境マネジメントシステム構築を目指して、初期レビュー、マニュアル作成などのシステム作りを進めており、本年中のISO14001認証取得を目指している。



図1 環境管理センター環境マネジメントシステム構築説明会の様子